

Glossary

グロッサリ

■ Moodle

オープンソースのeラーニングプラットフォームで、190カ国以上、40,000以上のサイトで利用されている。インストールやアップグレードが容易で世界中に多くのユーザや開発者がいる。PHPで実装されている。

(喜多敏博)

■ Sakai

教育・学習支援および研究プロジェクト支援に利用されるオープンソースソフトウェアである。Aperoo Foundationのもとで開発され、Javaで実装されている。大規模な大学で利用されることが多く、全世界で300以上のサイトが稼働している。(常盤祐司, 出口大輔)

■ Mahara

オープンソースのeポートフォリオシステムで、ユーザ同士が交流できるソーシャルネットワーク関連の機能も持つ。プラグインによる機能拡張が可能であり、Moodleとの間でシングルサインオン等の連携が可能であることも特徴の1つ。PHPで実装されている。

(喜多敏博, 宮崎 誠)

■ SCORM

Sharable Content Object Reference Modelの略で、アメリカのADL (Advanced Distributed Learning Initiative) が制定した、LMS (Learning Management System) とコンテンツの間のインターフェースやデータ形式を定めた標準規格。Moodle, Sakaiを始めとした多くのLMSがSCORM対応となっている。(西田知博)

■ MOOC

Massive Open Online Courseの略で、インターネットを介して無料で受講できる大規模公開オンライン講座。代表的なプラットフォームとして“edX”, “Coursera”, “gacco”などがある。(齋藤正史)

■ SPOC

Small Private Online Courseの略で、特定の参加者に対して小規模に行われるオンライン講座。MOOCの一形態として捉えられている。(齋藤正史)

■ ARCSモデル

ジョン・ケラー (John M. Keller) が提唱した、学習者の学習意欲の分析・向上のために提案されたモデル。学習者の意欲を高める手立てを、注意 (Attention)、関連性 (Relevance)、自信 (Confidence)、満足感 (Satisfaction) の4つの側面に分けてモデル化しており、頭文字をとってARCSモデルと呼ばれる。

(常盤祐司, 西田知博)

■ 反転授業

新たな学習内容を生徒は事前にビデオ等を用いて予習し、教室では講義を行わず、教師と生徒が学習内容に関してディスカッションや課題解決を行い理解を深める授業形態。(齋藤正史)

■ ビジュアルプログラミング言語

プログラムをテキストのみで記述するのではなく、グラフィカルな部品を組み合わせて作成できるようにしたプログラミング言語。視覚を用いた直感的な操作でプログラムを作ることができるので、子ども向けなど初心者のプログラミングに広く用いられている。(西田知博)

■ クリエイティブ・コモンズ・ライセンス

著作物のすべての権利を保護する著作権保護と保護の権利を放棄したパブリックドメインの中間の権利保護の考え方で、いくつかの権利を保持するライセンス形態。表示, 非営利, 改変, 継承に関するライセンス条件を指定可能。(齋藤正史)